

物語部門

となりのきみのクライシス

濱野 京子/作
 (さ・え・ら書房)
 91・ハ

6年生になってすぐ、葉菜のクラスでケンカが起こる。賢也に「過保護」とからかわれた紀里佳が怒ったからだ。そんなことを言う賢也じゃなかったのに、最近イライラしているみたい。杉田先生はうまくケンカをおさめたけれど、いつも横堀君を特別扱いしていることに葉菜は気づく。でも、横堀君は杉田先生を避けているみたいだ。どの子も自分の中で悩みと必死に闘っていたが、やがて問題が表面化してくる。すると新しい先生がやって来て、解決の糸口を教えてくれた。



物語部門

ハミングベアのくる村

キャサリン アップルゲイト/作
 (偕成社)
 93・ア

ウィロディーンは火事で家族を失い、飛べなくなったハミングベアとくらしていた。秋になると、村にハミングベアたちが美しい巣を作るために飛んでくる。村人たちは秋祭りで観光客を呼び、生計を立てていたが、近年ハミングベアの数が減っている。それは、くさくて嫌われものの動物サケビーを狩り始めたのと時を同じくしていた。動物を愛するウィロディーンはサケビーの赤ちゃんを守りながら、ハミングベア減少の謎に挑む。



捨てられる魚たち

榎木 春幸/著
(講談社)
66・ナ



日本料理店で総料理長をしていた榎木^{なぎ}さんは、漁師から「釣れた魚の半分は捨てている。」と聞き、なんとか食べられる魚を捨てずに活かすことはできないか考える。この「未利用魚」をまずは買い取ることから始めたものの、使い道が見つからないままお金だけが出ていく。あせっていた矢先、火山灰を使って魚を乾燥させる「灰干し^{はいぼ}」という手法を知る。鹿児島では桜島の灰はやっかい者で、灰干しはすぐには受け入れられなかった。困難にぶつかっても決してあきらめなかった榎木さんの挑戦。



物語部門

真夜中の4分後

コニー・パルムクイスト/作
(静山社)

94・パ

深夜の病院で、ニコラスはお父さんといっしょに、もうすぐ死んでしまうお母さんを見守っていた。その時間にたえられなくなったニコラスは、病室を飛び出し、エレベーターに乗って、今まで見た覚えのない赤いボタンを押した。着いた先には不思議なおばあさんがいて、1時間だけ、3年前のニコラスの誕生日に時間を戻してくれた。まだ元気だったお母さんを前に、ニコラスは後悔していたことをやり直し、お母さんが死なないう、未来を変えようと努力する。



物語部門

レベッカの見上げた空

マシュー・フォックス/作
堀川 志野舞/訳
(静山社)

93・フ

カーラは、雪の上にだれかが大の字に寝そべってつくった天使の跡^{あと}を見つける。そこには、あるべきはずの足跡^{あしあと}がなく、まるでだれかが空から落っこちてつくったよう。ある日、凍った湖の真ん中にある島でたき火をする女の子レベッカを見かける。レベッカとその弟サミュエルはそこでくらしていたのだ。二人はなぜ、いつからそんなところに？その答えはレベッカが持っていたコインで明らかになる。忘れてはいけない悲劇^{ひげき}。カーラは二人を助けることができるだろうか。時空も場所もこえた友情と悲しみ、そして希望の物語。



物語部門

うさぎになった日

村中 李衣/文
(世界文化社)

91・ム

はずかしがりやでみんなの前で話せない女の子が、先生と交換ノートを使って文字で“おしゃべり”することになる物語「うさぎになった日」など、いくつかの短い物語や詩がおさめられている。どれもうさぎをモチーフにしている。さし絵も注目！



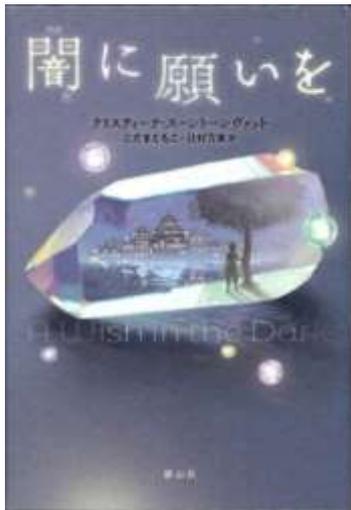
物語部門

ロボットのたまごをひろったら

奈雅月 ありす/作
(ポプラ社)

91・ナ

いつも論理的に物事を考える功は、ファンタジーがきらいで、友達なんていないと思っていた。ところがある日、クラスメイトのポヨとテツから、なぞの四角い箱をひろったとうちあけられる。見せてもらうと、箱は目の前でロボットに変身！3人は、「ムー」と名づけたロボットを育てることにした。最初は構造を見るために分解しようとした功だったが、赤ちゃんのようだったムーの言葉や行動が成長してくると、だんだんかわいく思えてきて…。



物語部門

やみ
闇に願いを

クリスティーナ・スントーンヴァット/著
(静山社)
93・ス

9歳の少年ポンとソムキットは、ナムウォン女子刑務所^{けいむじょ}に生まれ、まるで兄弟のように育った。刑務所で生まれたのは、死んだ母親たちが盗み^{ぬす}の罪でつかまっていたからで、13歳になれば出所することになっていた。しかし、ポンは、チャッタナーの街の総督^{そうとく}から「闇に生まれた者は、必ず闇に帰る」と言われてショックを受け、ふとしたきっかけで刑務所から逃げ出すことを思いつき、実行する。一方、正義感の強い刑務所長の娘のノックは、家族の名誉^{めいよ}を守るため、ポンを探してつかまえようと決心する。



アドニスの声が聞こえる

フィル・アール/作
(小学館)
93・ア

12歳の少年ジョーゼフは父親が戦争に行った後、祖母の知り合いミセスFに預けられた。ミセスFは難しい人だったが、自ら経営する動物園の動物を大切にしていた。中でもゴリラのアドニスは特別な存在だった。しかし空爆警報が鳴り響くと、ミセスFがアドニスに向かって銃を構えていた。なぜアドニスを殺そうとするのか分からず、ミセスFに怒りを抱くジョーゼフだったが、少しずつミセスFやアドニス、少女シドの真意に触れ、ジョーゼフの孤独と怒りは解かれていく。



絵画をみる、絵画をなおす
保存修復の世界

田口 かおり/著
(偕成社)
72・タ

「修復家」の田口さんは、絵画など美術作品をなおす仕事をしている。きっかけは15歳の時に家族でイタリアに行った時に見たミラノの大聖堂。「美しい」という言葉では収まらない圧倒的な大建築に心を奪われた。美術作品をなおし、後世に残すということは、その作品の歴史に参加するということだ。作成当時の材料や手法を調べ、作品にとっていちばん良い方法を選ばなければならない。さあ、修復の様子をのぞいてみよう。



物語部門

グリーンデイズ

高田 由紀子/作
(文研出版)
91・タ

佐渡島に住む小学5年生の芽衣は、東京の親戚の新といっしょに、新が受験する学校を見学する。新は、偏差値の高い東京の私立大学の付属中学校を受験するため、週5日間は塾に通って土日も休みなく勉強していた。佐渡に戻った芽衣は、東京で見た大学のことが忘れられず、新と同じ大学に通うことを目標に勉強を始める。ところが、6年生になった4月、新が中学受験をやめて佐渡に引っ越してくるようになった。芽衣のクラスに転校してきた新は、一人で過ごすことが多く、東京で会った時とはすっかり雰囲気が変わってしまっていた。



サーファーガール

麻生 かづこ/著
(小峰書店)
91・ア

お母さんと二人で、祖父母のいる海辺の町に引っ越してきた小学5年生のひなた。海を見てると不安でさびしい気持ちもふしぎと落ち着いてくる。ある日サーフィンをする中学生の女の子に声をかけられ、いっしょにやろうとさそわれる。やってみると、ひなたは波に乗るのが楽しくて夢中になり、新しい友達もできた。やがて、お母さんには内緒のまま地元のサーフィンキッズ大会に挑戦する。



物語部門

ブルーラインから、はるか

林 けんじろう/作
(講談社)
91・ハ

小学6年生のコタは、図書館で知り合った小学4年生の風馬^{ふうま}から、突然、夏休みの自由研究に協力してほしいと頼まれる。内容は、広島県と愛媛県を結ぶしまなみ海道を自転車で往復するというものだった。図書館が休館の月曜日、家族のいる家から逃げるため、コタは、風馬の自由研究に同行することを決める。実は風馬には、自由研究とは別の旅の目的があった。



物語部門

12音のブックトーク

こまつ あやこ/作
(あかね書房)
91・コ

中学1年生の初奈が気に入っている本『ことだまメイト』。同じ日に同じ願いごとの言葉を書くことで、2人が入れ替わる物語。ある日の朝読の時間「もう猫をかぶりたくない」と書いた瞬間、別の学校の柚菜と入れ替わってしまう。入れ替わるのは、朝読の時間だけ。その時に聞いた先輩のブックトークに興味を持つ初奈。柚菜は初奈がブックトークにチャレンジすることで願いが叶うのではと考える。



ノン
フィクション
部門

こちら、沖縄美ら海水族館 動物健康管理室

岩貞 るみこ/文
(講談社)
480・イ

沖縄美ら海水族館には、獣医師、動物看護師、検査担当者がチームとなって働く動物健康管理室がある。水族館で飼育している尾びれを失ったイルカのために、ゴム製品をあつかう企業と協力して人工尾びれを作る。泳げなくなって海に浮いていた、百キロもある野生のウミガメを助け、1年ものあいだ治療をして、海に帰す。未来の命のためにチームとなってはたらく、水族館の裏がわの仕事を知ることができる。

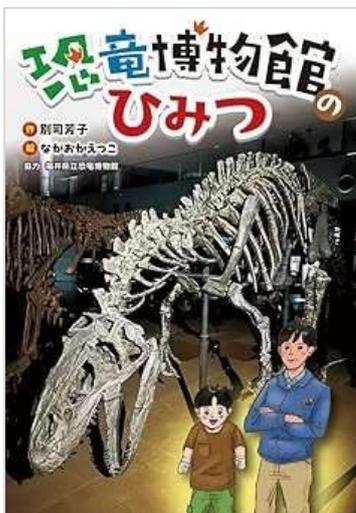


いつか、あの博物館で。
アンドロイドと不気味の谷

物語部門

朝比奈 あすか/著
(東京書籍)
91・ア

校外学習でロボット博物館に行った悠真、湊、陽菜、咲希は、アンドロイドを間近に見て、あまりに人間に似ていることに不気味さを覚える。湊はゲームでBOT (AI プレイヤー) を使う時に友達より気をつかわなくていいから便利だと思うし、咲希はなくなったおばあちゃんのアンドロイドがあったら寂しくないのになと思う。博物館で感じた違和感は何だろう。中学3年間の友達、家族、進路のことを4人がそれぞれの視点で語る物語。



恐竜博物館のひみつ

物語部門

別司 芳子/作
(文研出版)
91・ベ

夜になると恐竜博物館では、カメの長老や恐竜たちのおしゃべりが始まる。自由に動き、時にはケンカをすることも！こうらの化石が足りないこと、頭が3つあること、名前のこと…恐竜たちにもいろいろ悩みがあるようだ。カメ専門の天野研究員は、そんな恐竜たちのお悩み解決に夜も大忙し。ある日、天野は博物館によく来る博文と出会う。平日も来るなんて、学校に行っていないのかな…。天野は聞けずにいたが、なぜカメを研究しているのかを博文に話すうち、博文は自分の悩みを話し出した。

(物語の舞台は福井県立恐竜博物館)



物語部門

マナティーがいた夏

エヴァン・グリフィス/作

(ほるぷ出版)

93・グ

11歳の夏、ピーターは親友トミーと近くの川でマナティーを見つける。美しいマナティーの背中には白い線が付いていた。それがボートの衝突による傷跡だと知ったピーターは、ボートクラブの会長にマナティーを守ってくれるよう訴えに行く。しかし、会長は地元で逆らう人はいない手強い相手^{てごわ}で、ピーターの話^{うった}を聞くような人ではなかった。その後、認知症^{にんちしょう}のおじいちゃんの世話やトミーの引越^{あらし}し、嵐^{とうらい}の到来が重なり、ピーターの夏休みはめちゃくちゃに…。ピーターの願いが世の中を変えることはできるのだろうか。



王様のキャリー

まひる/著
(講談社)
91・マ

物語部門

中学2年生の勝生^{かつき}は、病院で車椅子の少年リオと出会う。その少年は、勝生もファンの一人である有名なeスポーツの動画配信者、ストリーマー、^{リオン} Lionだった。リオからゲームのランク上げに協力してやると言われた勝生は、いっしょにチームを組んでゲームをプレイするようになる。勝生は、リオの力を借りてランクを少しずつ上げ、目標だったAランクまで昇格する。そんなある日、リオにゲームの公式大会の招待メールが届く。その大会の出場をめぐる二人は大げんかをしてしまう。



みかんファミリー

椰月 美智子/作
(講談社)
91・ヤ

物語部門

中学一年生の美琴^{みこと}は、お母さんとおばあちゃんの三人家族。夏休みをのんびりすごしていたが、お母さんの重大発表で日々は一変してしまう。私たち三人家族と、お母さんの同級生だった朱美^{あけみ}さん家族三人とで、一緒に大きな古民家に住むことにした、と宣言されたのだ。知らない人と同居？なんて突然、そんな勝手な…と混乱する美琴だったが、あっという間に引っ越しの日がやってくる。初めて会う向こうの家族の中に、なぜか変わり者で有名な同級生野々花^{ののか}の姿があった。二家族の新しい生活はいったいどうなる？



復活! まぼろしの
小瀬菜だいこん

物語部門

野泉 マヤ/文
(文研出版)
91・ノ

小学六年生の鈴^{すず}は、ママのお兄さん夫婦が住む宮城県の小瀬で、白い小さな花が咲く花畑を見つける。それは、小瀬の伝統野菜である小瀬菜だいこんの畑だった。鈴は、伝統野菜について調べるために小瀬に来ていた中学二年生の牧人^{まきと}と出会い、作る人がいなくなって消えていく伝統野菜の話を知る。小瀬菜だいこんもその一つだと聞いた鈴は、牧人に自分が見つけた花畑のことを教える。畑の持ち主から、もう作らないと聞いた二人は、貴重な伝統野菜を残そうと、畑を借りてだいこん作りを始める。



物語部門

たい焼き総選挙

新井 けいこ/作
(あかね書房)
91・ア

杉菜駅近くの商店街には、松丸堂というたい焼き屋がある。松丸堂のたい焼きが大好きなたくと拓都は、松丸堂がピンチだと聞き、友達と協力してお店を助けようとする。あんこ以外のメニューとして、ぎょうざたい焼きを考案するが、原価、人件費、食品ロスなど、商売の難しさを知り、統計学を使って新しいメニューの人気投票に取り組むことにする。



物語部門

中国のフェアリー・テール

ローレンス・ハウスマン/著
(福音館書店)
93・ハ

画塾で下働きをしながら暮らしている貧しい少年ティキ・プーの喜びは、仕事の合間に、講義に聞き耳を立てること、絵の具にふれること、それからこの画塾にある、300年前に描かれた素晴らしい絵を眺めることだった。この絵の作者である偉大な画家はとうにこの世を去っているが、真夜中に姿を現したこの画家から指南を受け、ティキ・プーは絵を描く喜びを知る。人生をかけてもやりたいことが見つかること、尊敬する人と出会うこと、師から学ぶことができること…、時代や国、貧富や立場を超えて語りかけてくるような物語。

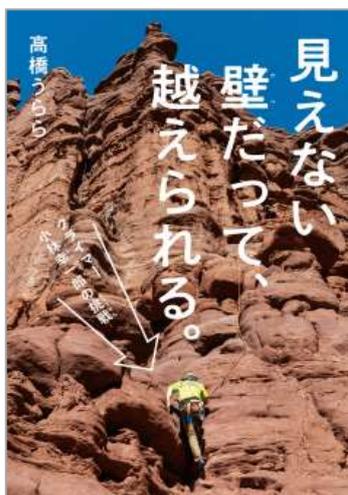


迷子のトウモロコシ

嘉成 晴香/作
(金の星社)
91・カ

物語部門

理名のお姉ちゃんは特別だ。中学生だけど、メディアでも人気の有名アーティストなのだ。特技や才能はおろか、やりたいことも見つからない理名だったが、一年ぶりに、以前住んでいたアパートを訪ねたことで、新たな出会いがあり、色々なことが変わっていく。



見えない^{かべ}壁だって、 越えられる。

クライマー小林幸一郎の挑戦

高橋 うらら/文
(金の星社)
78・タ

ノン
フィクション
部門

高校生の時に、フリークライミングに出合った小林幸一郎さん。それまではやりたいことや夢が見つからず、勉強も運動もせずに過ごしていたが、クライミングの魅力にとりつかれてから人生が一変した。しかし大人になり、進行性の目の難病が判明した小林さんは、絶望感から目標や夢を見失いかけてしまった。そんな小林さんを変えたのは、パラクライミングだった。パラクライミング・ボルダリングの普及に取り組み、多くの競技者を育ててきた小林さんの伝記。



物語部門

だるまさんがころんで

林 けんじろう/作

(岩崎書店)

91・ハ

SLボーイと呼ばれるカン太はじっとしていることができない。サッカーでも野球でも暴走し、チームに嫌われて悩んでいた。そこへいところから「全国だるまさんがころんだ選手権」に誘われる。カン太は達磨寺で自分を崇る〈タイシ〉の力を借り、完全停止をして優勝し、周りを見返すつもりだ。個性派ぞろいのチームメンバーを「ダメすぎる」と思っていたカン太だったが、メンバーの思いや対戦相手の真剣さに気持ちが動いていく。



物語部門

森に帰らなかったカラス

ジョン・ウィリス/作

(徳間書店)

93・ウ

1957年、動物好きの少年ミックは巣から落ちた野生のニシクマルガラスのひなを拾う。両親や親友ケンの手を借りつつ、ひたむきに世話をするうち、ジャックと名付けたひなは、両親の店の常連客や駅の乗客にも親しまれ、ミックの特別な存在になっていく。ミックはジャックとずっといっしょにいたくて家族や親友ともぶつかるが、そんな身近な人々との関わりの中で、人々の心に戦争が深い爪痕を残したこと、悲しみの中にあっても思いやり深く、勇敢であろうとする人々の人となりを知るようになる。



物語部門

そして パンプキンマンがあらわれた

ユ・ソンジョン/作
(小学館)
92・ユ

小学5年生のオ・イエジは、VRゲーム「パイキキ」に夢中だ。「パイキキ」の中はうまくいかない現実とは違う。自分の描いたクロヒョウをアイテム化し、いろんなシタデル（「パイキキ」内の遊び場）で自由に過ごすことができる。「パイキキ」にのめりこむうち、ユーザー名の表記されないヘルメットボーイと出会い、「いっしょにシタデルをつくらないか」と誘われた。自分の才能を認められ、イエジは不安を感じつつもヘルメットボーイの誘いに応じてしまう。



物語部門

コメディ・クイーン

イエニー ヤーゲルフェルト/作
(岩波書店)
94・ヤ

サーシャの12歳の誕生日より前に、ママは自ら命を絶ってしまった。ママはいつも泣いていた。だからサーシャはママとは逆のことをしようと、「絶対泣かない」「みんなを笑わせるコメディアンになる」と守るべき七つのポイントをリストにした。パパは強がるサーシャが心配だが、サーシャはこっそりコメディアンとして舞台に立つための準備を整えていく。サーシャの悲しみはこれで消えていくのか。



カキじいさん、
世界へ行く！

畠山 重篤/著
(講談社)
66・ハ



カキじいさんこと、畠山重篤さんは宮城県の三陸リアス式海岸でカキの養殖をしている。カキ漁が盛んなフランスを訪ねた畠山さんは、おいしいカキは、えさとなる植物プランクトンが豊富な場所で育つこと、プランクトンは森の腐葉土の養分が川にとけて流れこんできた海で増えることを知る。海の生き物と森が繋がっているのなら、宮城の山にも漁師たちの手で植林をしようと提案する。世界中のカキをめぐる旅をしたカキじいさんが今思うこととは…。



おこなわ跳びません

赤羽 じゅんこ/作
(静山社)
91・ア

物語部門

毎年恒例のおこなわ大会が近づいてきた。左足にハンディをもつ双葉は、自分が出ると勝てないからと見学を希望する。しかし、クラスメイトは勝ち負けよりみんなで一緒にしたい、練習すればできると言う。迷惑をかけたくない双葉は、その後学校を休んでしまう。クラスには、双葉の他にもおこなわが苦手な大会を休みたい子達がいた。一体何のための大会なんだろう。みんなが納得して参加できる方法はないのだろうか。クラス全員でおこなわ大会の新しいルールを考え始める。



銀樹

森埜 こみち/著
(アリス館)
91・モ

物語部門

海渡の都で過酷なくらしをしていたシンは、マボウたち朽葉の里の薬師に助けられる。マボウのそばで薬草や薬樹を学んだシンは、やがて少女キナとともに薬師になる。そして初めて、シンは自分が救われた時に使われた薬が銀樹という特別な薬だったことを知る。薬師によって大切に守られてきた銀樹だったが、ある時この薬効の噂を聞きつけた海渡の薬師が、分けてほしいと頼みに来た。銀樹の薬は人々をいやすことになるのか、それとも災いとなるのか。マボウたちが悩み、出した答えは…。



物語部門

ダンス・フレンド

カミラ・チェスター/作
(小峰書店)
93・チ

11歳のレオは、しゃべりたいけれどもしゃべれない。場面かんでもく症で、家族以外とは話せず、体が動かなくなることもある。夏休み、隣の家に引っ越してきたリカと知り合う。レオは自分のことをわかってもらおうと、場面かんでもく症であることを打ち明ける手紙を書いた。リカは手紙について触れることはなかったが、ダンス教室では気にせず話しかけてくれる。だが、発表会でレオが踊れなかったことで、リカはレオに厳しい言葉を投げつけてきた。

ノン
フィクション
部門

パンダのタンタン

杉浦 大悟/作
(講談社)
489・ス

2000年7月、神戸市王子動物園に2頭のパンダがやってきた。名前は「タンタン」と「コウコウ」。阪神・淡路大震災で被災した神戸の人たちに笑顔をもたらした。飼育員に選ばれた梅本さんと吉田さんは、《自分たち飼育員は、動物たちの「命」を預かっている。》という覚悟で、パンダとの信頼関係を築きあげる。中国への返還時期が来ても延長が認められ、ずっと一緒にいられると思っていた矢先、タンタンの体調に異変が起こる。「#また明日ね」という言葉で投稿する日々…タンタンと飼育員、獣医、協力者たちの記録。



おこなわ跳びません

赤羽 じゅんこ/作
(静山社)
91・ア

物語部門

毎年恒例のおこなわ大会が近づいてきた。左足にハンディをもつ双葉は、自分が出ると勝てないからと見学を希望する。しかし、クラスメイトは勝ち負けよりみんなで一緒にしたい、練習すればできると言う。迷惑をかけたくない双葉は、その後学校を休んでしまう。クラスには、双葉の他にもおこなわが苦手な大会を休みたい子達がいた。一体何のための大会なんだろう。みんなが納得して参加できる方法はないのだろうか。クラス全員でおこなわ大会の新しいルールを考え始める。



銀樹

森埜 こみち/著
(アリス館)
91・モ

物語部門

海渡の都で過酷なくらしをしていたシンは、マボウたち朽葉の里の薬師に助けられる。マボウのそばで薬草や薬樹を学んだシンは、やがて少女キナとともに薬師になる。そして初めて、シンは自分が救われた時に使われた薬が銀樹という特別な薬だったことを知る。薬師によって大切に守られてきた銀樹だったが、ある時この薬効の噂を聞きつけた海渡の薬師が、分けてほしいと頼みに来た。銀樹の薬は人々をいやすことになるのか、それとも災いとなるのか。マボウたちが悩み、出した答えは…。



ダンス・フレンド

カミラ・チェスター/作
(小峰書店)

93・千

物語部門

11歳のレオは、しゃべりたいけれどもしゃべれない。場面かんもく症で、家族以外とは話せず、体が動かなくなることもある。夏休み、隣の家に引っ越してきたリカと知り合う。レオは自分のことをわかってもらおうと、場面かんもく症であることを打ち明ける手紙を書いた。リカは手紙について触れることはなかったが、ダンス教室では気にせず話しかけてくれる。だが、発表会でレオが踊れなかったことで、リカはレオに厳しい言葉を投げつけてきた。



パンダのタンタン

杉浦 大悟/作
(講談社)

489・ス

ノン
フィクション
部門

2000年7月、神戸市王子動物園に2頭のパンダがやってきた。名前は「タンタン」と「コウコウ」。阪神・淡路大震災で被災した神戸の人たちに笑顔をもたらした。飼育員に選ばれた梅本さんと吉田さんは、《自分たち飼育員は、動物たちの「命」を預かっている。》という覚悟で、パンダとの信頼関係を築きあげる。中国への返還時期が来ても延長が認められ、ずっと一緒にいられると思っていた矢先、タンタンの体調に異変が起こる。「#また明日ね」という言葉で投稿する日々…タンタンと飼育員、獣医、協力者たちの記録。



物語部門

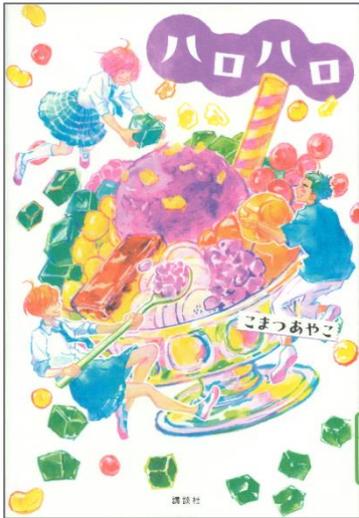
迷い沼の娘たち

ルーシー・ストレンジ/作

(静山社)

93・ス

魔物「沼の王」が住むと言われる沼地の村で、ウィラ達6人姉妹は暮らしていた。村には古くからの言い伝え「6人の娘の呪い」があり、父親は言い伝えどおり長女グレースを無理やり結婚させようとする。しかし、祖母や娘たちは村の人には秘密で本を読み、迷信にとらわれず自分たちの道を切り開こうとしていた。ある夜、グレースはサーカス一座の踊り子にならないかと誘われ、翌朝姿を消す。三女ウィラは自らも呪いから自由になろうとグレースの後を追う。追っ手から逃れ、恐怖心と戦いながら沼を越えようとする。



ハロハロ

こまつ あやこ/著

(講談社)

91・コ

物語部門

高校生になったのの花は、オンライン英会話を始めることにした。講師は、フィリピン人のジョシュア先生。のの花は、ジョシュア先生と話すことで、フィリピンの文化に興味をもつようになる。ある日、フィリピンの昔話を読んでいると、同じクラスの風羽に話しかけられる。なんと風羽のお母さんはフィリピン人。のの花は風羽の家で、フィリピン料理をごちそうになることに。おとなしい性格だったのの花の生活が、いきいきと変わっていく。



ハルカの世界

小森 香折/著

(BL出版)

91・コ

物語部門

中学1年生、美術部に入った遙は、同じ中学に通う姉の明日香にコンプレックスを持っている。明日香は県内ナンバーワンの体操の選手で、両親から期待されていて、友人からも人気がある。空想しがちで人の目ばかり気にしている遙とは大違いだ。遙は、眠っているときに、水没した巨大樹の中の水路を小舟で進んでいく夢を見ることがあった。美術部の活動で、その風景を描いていると、そこに描いた花が、かすかにそよいだような気がして…。



物語部門

ショコラ・アソート

村上 雅郁/著
(フレーベル館)
91・ム

「ラピスラズリの初恋」は、6年生の瑠璃が初恋の相手に親友を理解してもらえずショックを受けるが…。ほかにも引きこもりの兄へ謝罪の手紙を渡してほしいと頼まれる美咲の「秘密のゆくえ」など5つの物語を詰め合わせた短編集。2月14日、それぞれに悩みを抱える主人公たちが一歩前に踏み出していく。



物語部門

探検家

キャサリン・ランデル/著
(ゴブリン出版)
93・ラ

アマゾンのジャングルに飛行機が墜落した。生き残ったのは子ども達4人のみ。今まで読んだ探検家の本を思い出しながら、食べ物を探したり火を起こしたりするフレッド。見たものを記憶する力に長けたコン。生き物に詳しいライラとその弟マックス。4人はジャングルにとどまり助けを待つか、未知のジャングルを進んで脱出するか意見が分かれていた。ある日偶然、周辺が描かれた地図を見つけ、いかだで川を下ることにする。地図に記された×印に向かった4人が見たものとは？はたして生きて家に帰る望みは叶うのか。